

## 華為排除と「米中新冷戦」の深層を専門家が読み解く

# 華為 ショック

北京の人民大会堂で歓迎式典に臨むトランプ米大統領（右）と中国の習近平国家主席＝2017年11月  
（写真提供：共同通信社）

華為技術をはじめとする中国メーカーの通信機器が、米国とその同盟国の市場から排除されている。米国では2018年に国防権限法が成立、政府機関で華為技術、中興通迅（ZTE）などの通信機器を使用することを禁止した。同年12月にはカナダ当局が華為技術 最高財務責任者（CFO）兼副会長の孟晩舟氏を逮捕。日本政府は同月、米国の要請を受けて政府の調達から華為技術などを事実上排除することを決定した。日本の通信キャリアも直ちに5G基地局に華為技術、ZTE製品を導入しない方針を表明。華為排除の動きは、他の米国の同盟国にも拡大している。

今後もこの「華為ショック」は続いていくのか。そして、その行き着く先は「米中新冷戦」なのか。国際政治学、米国・中国政治、通信・セキュリティなどの専門家が、華為排除の背景と今後の展開について、俯瞰的・長期的な観点で分析する。（渡辺 元・本誌編集長）